

ジョッキーベイビーズ

ジョッキーベイビーズ出場を目指して全国各地で激しい予選が繰り広げられました。その模様をレポートします。

8/24 日 JRA福島競馬場
「東北・新潟地区代表決定戦」

東北・新潟地区

今年は16名がエントリー。技術審査(部班運動)および予選(ジムカーナ)により選抜された4名がダート直線250mの代表決定戦へ進出しました。代表決定戦は、暑熱対策のためパークウインズ発売終了後の夕暮れの時間帯に行われましたが、多くのお客様が競馬場に残り、声援を送っていました。レースではスタートで少し出遅れましたが、道中で先頭に立ち最後まで追い続けた岡崎純心さん(中学1年生)が優勝。岡崎さんは、昨年の同地区代表決定戦で僅差の2着と悔しい思いをしましたが、見事にそのリベンジを果たすことができました。

7/27 日 JRA日高育成牧場
「北海道地区代表決定戦」

北海道地区

今年は6人馬がエントリー。予選2レースを行い、各レースの上位2名(計4名)による決勝で代表を決定しました。昨年と同様に朝から雨が降り、水分を多く含むダートコースとなり、人馬にとって厳しい環境下での開催となりました。その中で優勝したのは、メイ号に騎乗した八嶋駿史さん(中学1年生)。予選、決勝ともに安定した騎乗姿勢で人馬一体となり、決勝では完璧なスタートで主導権を握ると、最後まで集中力を切らすことなく見事に逃げ切り優勝。八嶋さんは昨年の同地区決勝レースで2着と悔しい思いをしましたが、そのリベンジを果たすことができました。

8/7 木 JRA馬事公苑
「関東地区代表決定戦」

関東地区

今年は総勢17名がエントリー。まず予選でもある騎乗技術審査を行い、代表決定戦の6名を選出。そして、ダート直線250mの代表決定戦(3頭立て)を2レース行い、各レースの優勝者を関東地区代表として選出しました。1レース目は増山そらさん(中学1年生)が2頭の激しい競り合いを僅差で制して優勝し、昨年関東地区予選敗退の悔しさを乗り越え、見事にリベンジを果たしました。2レース目はスタートからしばらく3頭が競る形でレースが進み、最後は榎木絆さん(小学5年生)が抜け出して優勝。初出場とは思えない見事な騎乗を披露してくれました。

6/15 日 JRA中京競馬場
「中部地区代表決定戦」

中部地区

今年は12名がエントリー。予選を兼ねた騎乗技術審査で選出された5名による代表決定戦が行われました。代表決定戦では、勢いよくスタートを切った松尾泰志さん(中学1年生)が後続を引き離すかと思われましたが、中盤から2頭が競り合う形で先頭に躍り出ると、ミナ号に騎乗した柴田凜さん(中学1年生)がゴール直前で差し切り、見事全国大会出場を決めました。柴田さんは、昨年の中部地区代表決定戦でも同じボニーに騎乗し5着と悔しい思いをしましたが、今年は見事にリベンジを果たし、初の全国大会出場に臨みます。

6/29 日 三木ホースランドパーク
「みっきいポニーレース」

関西地区

今年は過去最多となる14人馬がエントリー。予選4レースを行い、各レースの上位1名(計4名)による決勝で代表を決定しました。関西地区は、他の開催地と異なり直線コースではなく、スタート直後にコーナーがあるテクニカルで難しいコースとなっており、今年はさらに最高気温が31℃を超えるタフなコンディションでのレースとなりました。そのなかで優勝したのは、五郎丸号に騎乗した西村虹来瑠さん(小学6年生)。決勝では、好スタートから先頭に立ち、後方から迫る2頭の追撃をわずかに振り切ってゴールし、全国大会出場を決めました。

6/8 日 JRA宮崎育成牧場
「九州地区代表決定戦」

九州地区

今年は7人馬がエントリー。朝から雨が降り続け、馬場状態が不良馬場という人馬にとって厳しい条件のなか開催されました。予選2レースを行い、各レースの上位2名(計4名)で行われた代表決定戦は、1位入線馬が残念ながらフライング失格となりましたが、スタートで大きく出遅れたものの、そこから物憂い追い込みを見せたフラワーカンパニー号騎乗の永谷愛琉さん(中学1年生)が昨年に引き続き見事全国大会出場を決めました。永谷さんは、「昨年の全国大会では8着と悔しい思いをしたので、今年は優勝を目指します」という力強いメッセージを残してくれました。

6/29 日 中城公園
「沖縄地区代表選考会」

沖縄地区

今年も照りつける日差しのもと北中城村の中城公園で、沖縄県内の1団体から6名がエントリーして代表選考会が行われました。代表選考会はレース形式ではなく、部班審査および直線走行審査により代表者の選考を行いました。3人の審判員が、「姿勢」、「扶助操作」、「バランス・リズム」を対象に採点を行った結果、最も優秀な成績を収めた金城唯さん(中学1年生)が沖縄地区代表に選出されました。金城さんは、「最初で最後の出場できるチャンスだったので1位を取って嬉しかったです。東京では沖縄の代表として頑張ります!!」というメッセージを残してくれました。



スタートの方法 (カウントダウン方式)



★口取り(引き手)はJRA職員が行います。

★危険防止のためムチは持ちません。

※ポニーはゲートの練習をしていません。制止させ一斉に引き手を放すやり方では、馬がよれる可能性が高まり危険なため、上記スタート方法を採用しています。

※東北・新潟地区、関東地区、中部地区の技術審査は主に「部班(集団で整列して騎乗し号令により動きを変える運動)」および「ジムカーナ(指定経路を走行するタイムレース)」が行われました。
※各予選は貸与馬方式(予選主催者が馬匹を用意する)【東北・新潟、関東、中部の3地区】と自馬参加方式(馬匹も参加者が用意する)【貸与馬方式以外4地区】とに分かれています。
※各予選の様子はジョッキーベイビーズ公式ホームページにて視聴することができます。

過去のジョッキーベイビーズ優勝者

★第1回(2009年)★
木村拓己さん(北海道)

★第2回(2010年)★
渡邊亮介さん(関東)

★第3回(2011年)★
石井李佳さん(関東)

★第4回(2012年)★
小林勝太さん(長野)

★第5回(2013年)★
斎藤 新さん(関東)

★第6回(2014年)★
角田大和さん(関西)

★第7回(2015年)★
大池峻馬さん(北海道)

★第8回(2016年)★
上薄龍旺さん(九州)

★第9回(2017年)★
加藤雄真さん(東北・新潟)

★第10回(2018年)★
木村暁琉さん(長野)

★第11回(2019年)★
佐野遥久さん(長野)

★第12回(2022年)★
松浦太志さん(東北・新潟)

★第13回(2023年)★
川田純煌さん(東海)

★第14回(2024年)★
梅澤怜士さん(東北・新潟)

注目の決勝レースは、いよいよ10月12日(日)、
東京競馬場で行われます。お楽しみに!!

※天候その他の理由により、イベントを中止または変更する場合がございます。予めご了承ください。

★ジョッキーベイビーズ公式ホームページ

ジョッキーベイビーズ

検索

